

令和2年度 東住吉区区政会議委員評価シート（集計） 【資料1】

集計委員人数計：12人／18人（66.7%）

【評価】 4・・・思う 3・・・やや思う 2・・・あまり思わない 1・・・思わない

1 令和2年度東住吉区運営方針に記載の各経営課題において取り組んだ内容は、総合的にみて、めざすべき将来像の実現に有効であったと思いますか？

経営課題	めざすべき将来像	評価（人数）				平均点 （前年度）
		4	3	2	1	
【経営課題1】 子育て層が住みたい、 住み続けたいと思う まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て層が安心して子育てができるように、子育て等に関する知りたい情報を知る環境を整え、子育ての関係機関等と連携を深め、育ちやすい、育てやすいまちとして、東住吉区に住みたい、住み続けたい子育て層が増える。 ・地域から孤立するなど子育てのしづらさを感じている養護者を減らし、前向きな子育てができる養護者を増やす。養護者が安心して楽しく子育てができ、子どもたちも健康ですくすくと育てられる東住吉区をめざす。あわせて虐待に至る事例を減少させ、虐待を起さない環境づくりを進める。 	1	8	3	0	2.83
		8.3%	66.7%	25.0%	0.0%	(3.19)
【経営課題2】 誰もが安心して 心豊かに暮らせる まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な自然災害発生時に、区民が防災の正しい知識に基づく備えを実践し自らの身を守り、地域住民が自ら救出救護・初期消火・避難行動要支援者の避難誘導・避難所開設などを行えるとともに、区役所が区災害対策本部としての機能を十分発揮し、地域や避難所との連携をスムーズに行うことで、被害を最小限にするまちになる。 ・誰もが健康的で安心して心豊かに暮らしていけるように、地域のあらゆる力を集めて、あたたかなつながりがあり、誰もが“しあわせに”暮らせる、住みよいまちにする。 	2	5	5	0	2.75
		16.7%	41.7%	41.7%	0.0%	(3.06)
【経営課題3】 みんながつながる まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化・複雑化する地域課題の解決を図るべく、住民や地域団体、企業、NPO等様々な団体や幅広い年代の区民がまちに愛着と関心を持ち、つながりあうことで、豊かなコミュニティが醸成され、自らの地域ことは自らの地域が決めるという意識のもと、相互に理解し信頼しあいながら協働するまちになる。 	2	4	5	1	2.58
		16.7%	33.3%	41.7%	8.3%	(3.44)
【経営課題4】 まちづくりの推進に 向けた情報資産の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域で必要な資源、さまざまな活動主体の情報をつかみ、紙や電子媒体で、区職員がまちのセールスマンとして積極的に情報発信する。 ・地域内や他地域の情報を区民が主体的に知ることができる環境にある。 	2	7	3	0	2.92
		16.7%	58.3%	25.0%	0.0%	(3.00)
【経営課題5】 区民と共に創る まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の意見・要望・提言の聴取に努め、区の特長や地域実情に即した区政が運営される区民主体の自治を実現できている。 ・身近な総合行政の拠点として区民から信頼される区役所をめざす。 	2	7	3	0	2.92
		16.7%	58.3%	25.0%	0.0%	(3.19)

2 経営課題1～5は、区の目標の実現に有効であったと思いますか？

区の目標(何をめざすのか)	評価（人数）				平均点 （前年度）
	4	3	2	1	
子どもが輝き、みんながしあわせなまち ～ゆめ・だんらん・ひがしすみよし～	2	6	4	0	2.83
	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	(3.31)

令和2年度 東住吉区区政会議委員評価シート（集計）

経営課題	評価	評価理由
【経営課題1】 子育て層が住みたい、住み続けたいと思うまちづくりの推進	4	区の運営方針に基づき地域の連携と方向性が一つとなり、明るく安心した子育てとともに、住み続けたいと思う気持ちがかえらる。
	3	自分の中では推進されていると思うが、届けたい人に情報が行き届いてない気がします。
		今年度はコロナ禍のなか、あらゆるものが中止となり取組が出来なかったのは仕方ないと思います。ただ、この中でも辛い思いをして子育てをしている方は変わらずにいるわけですので、孤立させない新しい取組を行えたらと期待しています。
		区政会議もそうですが、いろいろな議論の場でこの話題が中心になっていることが、めざすべき将来像に近づいているんだと思います。
		昔は町内にも子どもが大勢いたので、ふれ合うことが多くありました。しかし、現在、町内には幼児や子どもは全くいません。長年、区内の小学校に勤務していた経験を活かしたいと思いつつも、子育て世代の人と話す機会も少なく困っている状況もつかめないでいます。
		以前にも課題になった40代世代の人口減少の歯止めのためにも、小さな子育て層、小学生上級～中学生くらいの子どもにも魅力ある学力づくり、スポーツ等にも公の力を借りたい。
		LINE等での若年層への情報共有はできていると思う。
		子ども、子育てに関する情報を目にしたたり、聞いたりする機会が増えた様に思います。
	東住吉ゆめ応援プロジェクト等の事業が中止となった。子育て支援室が要支援家庭への取組や、子どもの居場所づくりへの働きかけをして頂いている。	
	2	全体を通じて、将来像に対して、どうなれば課題が克服された、と評価できるのか、基準が不明確である。子育て層が住みたいと思うのであれば、親世代となり得る30歳代の増減や、年少人口そのものの増減を住民基本台帳のデータから把握すべき。
東住吉区在住の人は、東住吉区の施設は親子で行けば無料とする。地域での親子サロンを充実させ、親同士の会話を活発にする。		
		親子サロン等の周知があまりされていない。区社協との連携が機能していない。

【経営課題2】 誰もが安心して心豊かに暮らせるまちづくりの推進	4	水害ハザードマップが投函されていました。これを目にすることにより、一層の啓発になり、詳細な説明も繰り返し読むことができ、しっかり保存してもらえると嬉しいです。
		区の災害・防災対策本部の指令を受け、地域全体が自主的にシミュレーションの研修を重ね、統合した活路を見出している。地域の催し等に年齢の上下なく参加できている。
	3	区政会議で資料を見せていただいて、素晴らしい取組をされていると感じた一方で、ここまで考えているとは今まで知らなかったもので、やはりどの課題も統一した意見ではあるが、区民にどう周知するのが大事だと思います。
		コロナ禍で地域とのつながりも薄くなりやすいので、特に情報弱者のご年配の方がスムーズに避難できるように、民間の高齢者施設・デイサービスを行われている方たちとも連携をとっておくと良いのではと思います。
		区からの情報や、区民に向けた取組は多くなっていると思う。区民の意識向上が必要だと思うので、つながりなど、区民の意識向上を次の課題にすべきだと思う。
		大和川氾濫による災害や水害の危険を感じています。私の町内は高齢者や独居老人ばかりなので、いざというときには、古い付き合いのある人たちとつながって助け合うことが重要となります。そんなまちづくりが一番大切だと実感しています。
		地域住民が自らという点で、どこまで出来るかは疑問が残る。
	2	全体を通じて、将来像に対して、どうなれば課題が克服された、と評価できるのか、基準が不明確である。自己評価の欄は計画に対して何ができ、何ができなかったか、それを総合してどう取り組みを評価するか、が書かれるべきであるが、記述レベルがバラバラかつ細かすぎて委員として評価しづらい。
		日頃から地域での防災訓練を実施する。地域での治安を安定させる。
		コロナの影響により、皆さんが集まる機会が極端に減って、スムーズな連携体制が崩れてきています。
防災訓練が殆ど行われず、各町会内でも協議や伝達の機会がなかった。		
	南北で地域差があるように思う。危機感が乏しい。想定外を想定して、自助・共助・公助への取組の見直し。防災訓練への参加及び周知。	

令和2年度 東住吉区区政会議委員評価シート（集計）

経営課題	評価	評価理由
【経営課題3】 みんながつながる まちづくりの推進	4	同感です。年々地域が希薄になっていくような気がするので、これは意識して考えていく必要があります。
		地域全体の中で各団体の活動の横のつながりを密に、交流をモットーにコミュニケーションが出来あがっている。
	3	コロナの影響で目に見た取組が出来なかったのが残念です。
		「自らの地域のことは自らの地域が決めるという意識」とありますが、商店街は努力だけでは限界があります。しかし、今回の東住吉区シェアサイクル事業は、公が動いてくれたおかげで実現出来そうで大いに期待しています。駒川商店街の北と言わず南にもステーションが欲しいです。
	2	各団体のつながりは線から面になっていく取組が必要。
		全体を通じて、将来像に対して、どうなれば課題が克服された、と評価できるのか、基準が不明確である。自己評価の欄は計画に対して何ができ、何ができなかったか、それを総合してどう取り組みを評価するか、が書かれるべきであるが、記述レベルがバラバラかつ細かすぎて委員として評価しづらい。
		この経営課題は、経営課題2にも関係するので、非常に重要。一部の世代（高齢者、子育て層）を除くと、一般的につながることのメリットがわかりづらいのではないかと？メリットをもっと伝えていく必要がある。
		将来像実現のためには必要なことだと思いますが、問題を絞る必要があると思います。
	1	地域行事や組織の活動が、中止・抑制されたため進まなかった。
		依然と地域振興会、社協が中心で、特に企業・団体等の参加が少ない。
1	地域活動で頑張っている方はごく一部で、自分の事しか考えてない人が多い。	
【経営課題4】 まちづくりの推進 に向けた情報資産 の共有化	4	区の職員さんだけではなく、我々区民も情報伝達の担い手という当事者意識を持つことが必要なのではないかと思います。
		今年度は広報紙「なでしこ」の各ご家庭・事業所などへの配布が行われ、区の情報に触れる機会が増えて良かったです。
	3	区職員の方々がまちづくりという意識をもち、活動していると思う。
		広報紙「なでしこ」が発信源になっている。
		努力されているとは思いますが、活動主体に関わらない方をどうするかです。
		広報紙の普及や内容の充実。
	2	区の方針を提示報告するだけでなく、地域の活性化事例を取り上げ、各地域にも紹介してみる。
		全体を通じて、将来像に対して、どうなれば課題が克服された、と評価できるのか、基準が不明確である。自己評価の欄は計画に対して何ができ、何ができなかったか、それを総合してどう取り組みを評価するか、が書かれるべきであるが、記述レベルがバラバラかつ細かすぎて委員として評価しづらい。
		まちのセールスマンとしては、もっと関わっていく（話を聞きに行く等）必要がある。
		広報紙「なでしこ」を充実させるのが得策。

令和2年度 東住吉区区政会議委員評価シート（集計）

経営課題	評価	評価理由	
<p>【経営課題5】 区民と共に創るまちづくりの推進</p>	4	<p>コロナ禍で会議の場がなくなり意見交換がしにくい中、アンケートで意見が伝えられたのが良かったです。今後はeラーニングやグーグルフォームを使うとアンケートが取りやすいと思います。</p> <p>とてもよく頑張っていたと思います。矢田南部の再開発、よくここまでこぎつけられました。期待しています。</p>	
	3	<p>まだまだ実現というところには至っていないと思いますが、我々自身ももっと興味を持ち、一緒に関わっていく必要があると思います。</p> <p>実現できているとまでは、まだ言えないかもしれないが、区職員の方々が意識をもって考えているとは言えると思う。</p> <p>区民の意見を聞いているのは一部だけという感がある。</p> <p>区民のために頑張っておられると思います。</p> <p>個性、特徴のある区であってほしい。</p> <p>広く区民から意見を吸い上げる方法が確立されていない。</p> <p>地域ごとの特色で町全体の区民全体の理解につながると思う。一歩前進（紙だけの広報紙にならないで）。</p>	
	2	<p>全体を通じて、将来像に対して、どうなれば課題が克服された、と評価できるのか、基準が不明確である。自己評価の欄は計画に対して何ができ、何ができなかったか、それを総合してどう取り組みを評価するか、が書かれるべきであるが、記述レベルがバラバラかつ細かすぎて委員として評価しづらい。</p> <p>ゴミ回収がどの日も夕方ですが、朝の出勤時に自宅前に出す人が多い実態から、長時間置きっぱなしとなるため、景観が悪くカラスによる被害も甚大です。「午前回収の日もつくって欲しい!」と関係役所や関係機関にお願いしても、あちこちヘタライまわしばかりで冷たい対応です。区民の声が届きにくいです。</p> <p>区民センター創設等、区民の要望を一緒になって考えていない。</p>	
	<p>【経営課題1～5】は、区の目標の実現に有効であったか</p>	4	<p>有効だと思います。継続してPDCAを回していくことで、少しずつ変わっていくのではないかと考えます。</p> <p>新しい生活様式に合わせた取組を行うことで、上記の経営課題で目標実現につながると思います。</p>
		3	<p>将来像に向けた取組ということで、まずはそれぞれの課題から見えることを共有している段階。今後、それぞれの課題のつながりなどが見えてきて、実現に繋がってくると思うし、それぞれの課題を同時に考えていくことが重要だと思う。</p> <p>目標が漠然として答えがむづかしい。</p> <p>コロナ禍なので、行動制限があり難しかったと思いますが、今後はwebを使った会議を含め、区民への声を聞きに行く方法を考えたいと思います。</p> <p>2年度は、しっかりと取り組めなかったのが現状だと思います。職員の方々も大変だと思うので、少し長いスパンでしっかりと活動して行きましょう。</p>
		2	<p>経営課題のどのような点が改善・克服されたから、区の目標につながったのか、という関係性が分からないため。</p> <p>まだまだ課題は山積みです。</p> <p>課題1と2は、ある種関連のあることですので、1つの課題と捉えた方が良かったのではないかと思います。</p> <p>未来ある子どもたちへの施策が不十分。例えば、医療費、教育費等への補助。また子育て世代への支援（特に女性が働きやすい環境づくり）。</p>